





主治医氏名		谷口 直史 印		号室			
主治医以外の 担当者氏名	担当医師	市川二郎、辰野力人、水上魁		管理栄養士	荒川元喜		
	看護師長	岩澤久美		リハビリテーション部	八木野孝義		
	担当看護師			【患者または代理者同意署名】 年 月 日 氏名			
病名		両・右・左 変形性股関節症					
症状		股関節痛・歩行困難・その他 ()					
特別な栄養管理の必要性		(あり ・ なし)		*代理署名の場合 患者との続柄 ()			
推定入院期間	入院日 (/) 入院1日目	入院2日目 手術当日 (/)	手術前	手術後	入院3日目 手術後1日目 (/)	入院4日目 手術後2日目 (/)	入院5~6日目 手術後3~4日目 (/ ~ /)
注射・ 内服	入院中に薬剤師が薬剤指導を行い、薬剤師による注射薬・内服薬についての説明があります。	手術前に点滴や注射をすることがあります。	手術後、抗生剤の点滴をします。手術室より痛み止めの点滴が持続的についできます。	抗生剤の点滴をします。採血結果を確認し、医師の指示で点滴は終了する予定です。			
	飲み薬、目薬、軟膏、点鼻薬など、お薬手帳と合わせて確認を行います。	医師の指示により看護師がお渡しする薬だけ内服します。	特にありません。	手術前に飲んでいた飲み薬を再開します。痛いときには痛み止めの薬がありますので、我慢せずに看護師に声をかけてください。		夕食後から血栓を予防する薬を内服します。	
検査	採血をします。 	特にありません。	手術室で採血をします。 	採血をします。 			手術後4日目に採血をします。 
処置	特にありません。	手術に行く前までに血栓予防のために弾性ストッキングを履きます。	弾性ストッキングの上にフットポンプをつけて帰宅します。弾性ストッキングは歩行が安定するまで続けます。	1日1回弾性ストッキングを履き替えます。			創部の確認をします。
教育・ 説明・ 指導	病棟の設備や手術前や手術後の流れについて説明を行います。午後に麻酔科と歯科の受診があります。 【手術必要物品】 T字帯・吸い飲みまたはストロー	手術について不明点がないか確認を行います。わからないことがあったら看護師に相談してください。	手術後は体温や血圧、脈拍、創部、足の動きの観察などを行います。痛み止めの点滴が入ってくる際は看護師が使い方を説明します。	退院まで、体温・脈拍・血圧・創部の観察、足の動きなどの確認を行います。			
安静度	特に制限はありません。転倒しないように靴の着用をしてください。病棟を離れる際には看護師に伝えてください。		ベッド上安静です。体の向きを変えることはできますので声をかけてください。看護師がお手伝いします。	車椅子に移動することができません。移動する時には看護師がお手伝いをします。			リハビリテーションの進行状況によって、行動範囲も拡大します。
食事	24時以降は摂食禁止となります。	麻酔科の指示により水分制限があります。食事はできません	手術後おなかが動き始めたら、水分が飲めます。看護師がお手伝いします。	朝から食事が出ます。医師の指示がなければ食事の制限はありません			
排泄	歩けない方は車いすですトイレに行けるようにお手伝いします。		尿管が入ってきます。排便があるときはベッドの上で排泄となりますので、看護師がお手伝いします。	尿管が入っています。		尿管を抜く予定です。トイレに行くときには車いすでお手伝いをします。	車椅子への移乗が安定していたら、看護師より一人でトイレに行ける許可が得られます。
清潔	シャワー浴をします。爪が伸びているときには看護師に声をかけてください。	特にありません。	特にありません。	陰部を洗い、体拭き、病衣の交換をします。		体調に合わせて体を拭いていきます。	シャワー浴は体調と創部の様子で開始となります。
リハビリ テーション	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。		リハビリテーションが開始となります。リハビリテーション室までの移動をお手伝いします。	週末はリハビリテーションがお休みになるので、状況に合わせた病棟リハビリテーションを行います。
その他	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。		特にありません。	特にありません。

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることもあります。
*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

号室
患者番号 0008985093

推定入院期間	入院7~8日目 手術後5~6日目 (/ ~ /)	入院9~15日目 手術後7~13日目 (/ ~ /)	入院16~18日目 手術後14~16日目 (/ ~ /)	退院日 入院19日目 手術後17日目 (/)
注射・内服	血栓予防の薬を内服しています。	手術後10日頃に血栓症予防の薬は終了します。	薬剤師が退院後に継続する薬剤について説明を行います。次回外来まで飲み薬の処方希望の場合は、医師、看護師に相談してください。	処方希望された方には退院処方をお渡しします。 
検査	特にありません。	採血をします。股関節のレントゲンを撮ります。 	採血をします。股関節のレントゲンを撮ります。下肢の超音波の検査をします。 	特にありません。
処置	創部の確認をします。			
教育・説明・指導	創部の観察が自分でできるように説明を行います。	リハビリテーション病院への転院が必要な場合は、医師と相談しながら転院先を調整します。	退院後の生活での注意点や股関節に負担のかかる動作、退院後も自分でできるリハビリテーションなど説明を行います。不明点があるときは担当医師や看護師にお尋ねください。	次回受診日の再診票を渡します。
安静度	リハビリテーションの進行状況によって、行動範囲も拡大します。			
食事	医師の指示がなければ食事の制限はありません。			
排泄	リハビリテーションの状況に合わせて歩いてトイレに行くこともできます。			
清潔	リハビリテーションの状況により、車椅子または歩行器で歯磨き、シャワーなど退院後の清潔に向けた活動ができるように支援します。			
リハビリテーション	歩行器などの補助具を使用して歩く練習を始めます。関節可動域訓練・筋力強化訓練を行います。	歩行器やT字杖、ロフトランド杖など補助具を使用して歩く練習を行います。筋力訓練を行います。階段の上り下りの練習も行います。 	歩行器やT字杖、ロフトランド杖など補助具を使用して歩く練習を行います。筋力訓練を行います。階段の上り下りの練習も行います。退院に向けて床からの立ち上がりなど日常生活の動作の訓練を行います。	特にありません。
その他	特にありません。	特にありません。	特にありません。	退院の日は午前10時までに退院となります。お会計は退院日のお支払いか、誓約書となります。

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることもあります。

*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。